

HAMURA

愛情キュッとず〜っとはむら



羽村市魅力発信市民記者レポート

▶ ちょっと立ち止まると見えてくる 羽村のいきもの



▲「はむらぐらし」はこちらから

羽村にはどんな場所に、どんないきものたちが暮らしているのでしょうか？市内には、明るく開けた場所もあれば、木陰が広がる林もあり、田んぼや用水路、多摩川の水辺などの多様なフィールドが存在しています。そのような中でも明るさや気温などの環境に応じたいきものが暮らしており、同じに見える場所であっても、少し離れば、出会えるいきものは違ってきます。今回は、そんなさまざまないきものたちに出会える羽村の公園を紹介します。



踊り子草公園・チューリップ公園 (羽中 4-1218-1・4-809-1)

水田や用水路、崖線（崖による土地の高低差がついている一帯）が1つとなっている貴重な自然環境が存在しています。アマガエルやカジカ、トンボなど約40種類のいきものがいます。また、夏と秋では違ういきものに出会えます。

羽加美緑地公園 (羽加美 2-2457)

市内で樹木の面積が一番広い公園です。鳥類、蝶や甲虫などの昆虫、爬虫類など、30種類以上のいきものが生息しています。

普段は通り過ぎてしまうような小径や公園でも、少し足を止めてみることで、思いがけず多くのいきものに出会えるかもしれません。ぜひ、羽村のいきもの多様性を、間近で感じてみてください。

※田んぼや私有地には入らないようにしてください。



筆者：ムラオカさん

兵庫県尼崎市出身。仕事の都合で関東に転勤。人があたたかく、自然もあり、生活しやすい、そんな羽村市をなかなか気に入っています。

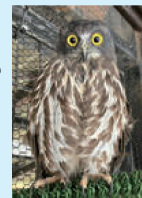


青葉が茂る頃に渡来するフクロウ

羽村市の市鳥【アオバズク】は、青葉の季節に渡来するフクロウの仲間「木菟」ということから、「青葉木菟」と呼ばれ、当園には、3羽（雄2羽、雌1羽）います。

2023年に誕生した雄の「スカイ」と雌の「るり」は、今年の6月16日に3歳になります。人工育雛で育った子たちで、飼育員が親代わりでした。今ではしっかりと自立し、お父さんの「きゅう」と一緒に仲良く過ごしています。

夕暮れになると鳴き始めるため、ホッホッと聞こえるかも…？ 小さくて可愛いキュートな姿をぜひ見に来てください。



営業日のお知らせ

4月から毎月第3月曜日を特別営業日として開園しています！

特別営業日 午前10時～午後3時(最終入園は午後2時30分)

※入園料金などに変更はありません。

※第3月曜日が祝祭日の場合は、通常営業です。

※売店「AOBAZUKU」はお休みです。

問合せ ヒノトントンZOO ☎579-4041

6月の休園日

1日(月)・8日(月)・22日(月)・29日(月)



ヒノトントンZOOウェブサイト



ヒノトントンZOO公式X

市公式サイト



羽やすめ



X



Facebook



Instagram



YouTube



LINE

